

名前: \_\_\_\_\_

# 個別年間計画・発達状況チェック表①

担任	つくし		つくし		すみれ		もも		ばら		きく		ゆり
----	-----	--	-----	--	-----	--	----	--	----	--	----	--	----

		0歳児 基本的信頼感・安定根を確立する										満1歳 探索活動を保障し見守る										満2歳 自我の気持ちを受け止める															
		0ヶ月	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月	13ヶ月	14ヶ月	15ヶ月	16ヶ月	17ヶ月	18ヶ月	19ヶ月	20ヶ月	21ヶ月	22ヶ月	23ヶ月	24ヶ月	25ヶ月	26ヶ月	27ヶ月	28ヶ月	29ヶ月	30ヶ月	31ヶ月	32ヶ月	33ヶ月	34ヶ月	35ヶ月
心身の発達	運動	首のすわり → 寝返り → 這い這い → お座り → つかまり モロー反射 頭を少し持ち上げる 仰臥位から伏臥位 伏臥位から仰臥位 足踏み反射 頭の位置を保つ 支え座り ずり這い→四つ這い→高這い パピンスキー反射 グライダーポーズ 段差を超える 緊張性頸反射 追視 ピボットターン パラシュート反応											立ち → 一人歩き 伝い歩き 両手を広げバランスをとって歩く(ハイガード) 押し歩く しがむ またぐ 両手をついて階段を昇る・足から降りる 足をそろえて階段昇り 転がってきたボールをとる 相手にむかってボールを投げようとする										歩行の確立 → 走る 飛び降りる ぶら下がる 三輪車に乗って地面を蹴って進む 両手に持ったボールを頭上から投げる お友だちと手をつないで歩くことができる バランスのある遊び(転がす、的入れ、その場とびなど) ※大人が要求課題をもってすすめていくこと ・片足ずつ階段をのぼれる ・両足とびで前進する														
	手指操作	触れたものを握る → 親指が外側にて握る → 小さい物を指先でつまむ → 小さい物を親指と人差し指でつまむ 手を口にもってしゃぶる 手の平全体で握る 持ちかえる 両手のおもちゃを打ち合わせる 蓋の開け閉めをする 手の動きが活発になる 器から物を取り出す 紙をちぎる、丸める 器の中の物を入れたり出したりする 容器の中の小さなものを取る つかむ、たたく、ふる 手首を回転させはじめる											道具を使う 積み木を3個以上積む 手首のコントロールが出来るようになる ねじって蓋をあける 連続ぐるぐる描きのはじまり										利き手をはっきりする ねじってちぎる、など2つの連続した手指の動作 積み木を8個以上積む 人差し指と中指で2を示す 独立したグルグル描き 簡単な折り紙を折る 音楽に合わせて両手を同時に動かすことができる 丸が閉じる 丸の大きさを調整して描ける														
	言語	クーイング → 喃語が出る → 指さしのはじまり → 初語・一語文を話す 母親の声の区別が出来る 反復喃語 喃語に強弱や高低がつく 喃語と意味が一致する 象徴機能(言葉遊び、見立て 話かける人の目や口元をじっと見る 大人の呼びかけに反応する 大人の言葉をいくつか理解する 大人の言葉に対し首振りなどの動作で応える 大人の声を真似る 名前を呼ばれたら振り返ったり手を上げたりできる 循環反応(すぐその場で真似る) 自分から発声し呼びかける 要求や拒否を喃語や動作で表現 拒否を表す片言											二語文を話す 遊び、ごっこ遊び) 助詞を使う 大人の言葉をオウム返りする 友達の名前がわかる 友達の名前を呼ぶ										簡単な文章を話す 物の名前を何でも知りたがる 発声が明瞭になり語彙が著しく増加する 自分のことを名前で言い始める 200語~300語 問いと答えの関係が成立する 赤ちゃんの言葉から大人の言葉への移行のはじまり 意思や欲求を言葉で表わす 形容詞を使いだす 500語 <一次性吃音が現れることがある>														
	情緒	情緒的応答があらわれる → 特定の人に愛着を示す ほほえみ・笑い・泣き(自己アピール) 知っている人に自分から微笑む 8ヶ月不安 人見知り 不快感の芽生え 感情の分化 後追い 抱っこされると泣き止んだり安心した表情をする 他の人を認める(自分がわかる)三項関係の成立 親を認知しはじめる バイバイなどに反応する 自己意識の芽生え 嫉妬の感情が表れる 生理的微笑 手を目の前に持ってきてじっと見る(ハンドリガード) 大人の表情を参照する <噛みつきができることがある>											自我の芽生え 「～ではない、～だ」の思考ができる 気持ちを立て直すことができはじめる <嫉妬心が強くなる> 得意、不安など高度な感情表現										自我の育ち → 自己主張する イヤ、モット、など自分の要求を意思表示するようになる 自分を中心にした物の考え方を ジブンデ！と自我を主張する 社会的参照(他の人の感情表現を行動の基準にする) 他者のモデルを自分の世界に取り入れる(まねっこ)														
	歯	下2本 上2本下2本 上4本下4本 授乳期 → 離乳初期 → 離乳中期 → 離乳後期 → 完了期 抱かれて一対一で飲んだり食べたりする (1回食) (2回食) (3回食) スプーンに慣れる 味に慣れる・ドロドロ状 舌でつぶせる固さ 歯茎でつぶせる固さ ※スプーンを横にして ※子どもの一口量だけ介助 ※歯が上下4本そろった頃 口唇にそわせ、チュク スプーンにのせ下唇にのせ スティック状に切った煮野 チュク飲むようにする 子どもが口を閉じて取り込むのを待つ。 葉を持ち、自分で前歯を使 おしぼりで、ロや手を拭いてもらう エプロンをしてもらう っで噛み切るようにする ・コップを使い始める											上6本下6本 1対2 自分の場所がわかる(椅子に座って食べる) 上握りスプーンで少しずつ食べられる 2スプーン(大人用子ども用) 自分の食べ物と人の食べ物の区別ができる <おかわりの意思表示ができる> 一人でコップを持ち飲む 上手に飲むことができる 自分で食べたい意欲の芽生え ・エプロンをつけ、ロ・手を拭いてもらうまで待てる										上8本下8本 上10本下10本(乳歯がはえそろう) 自分の場所で食べられることに気持ちが向いている 上握りスプーンで持つ 食べ物の区別ができる <おかわりの意思表示ができる> 一人でコップを持ち飲む 上手に飲むことができる 自分でエプロンをする、														
生活	排泄	おむつを交換してもらう おむつが濡れた不快さを泣いて知らせる 授乳後すぐに排便する 排泄の間隔が短く不安定 おむつ交換時に足を上げる、寝返りをうとうとする 便に形が出てくる											おむつが濡れたことを知らせる 表情や態度で排便がわかる 動作で排便を知らせる ことばで排便を知らせる 排尿にリズムができる 排尿間隔:1時間~1時間半										便器に座る(おむつが濡れていない時) → だいたい自分で行ける 手洗いを大人に手伝ってもらって自分でする 排尿間隔:2時間 <好みがでてくる> スプーンを上握り三点持ちで持つ もっとうちようだい、いらないが言葉で言える よく噛む習慣をつける 助けをかりて口と手を拭く おしぼりをたためる <偏食があらわれだす> スプーンの下握り三点持ちが安定する よく噛んで食べる スプーンと茶碗を両手で使える 自分で椅子をひいて座り食べ終わったら椅子を入れる 紙を流す <男の子は立って排尿する>														
	睡眠	3回寝 → 睡眠のリズムが整ってくる → 2回寝 大人の干渉なく見守られて眠る <昼間の眠りが薄くなり始める> 決まった時間決まった場所で寝る 昼夜の区別が不明瞭 昼夜の区別ができてくる 屋間の目覚め10時間 総睡眠14時間 総睡眠13時間											1回寝 就寝リズムが一定になる 自分で布団に行く <夜泣きや寝言が一時的にできることがある>																								
	着脱	こまめに肌着をとりかえてもらう 自分も手足を動かし着脱を手伝おうとする パンツ、靴下を脱ごうとする 帽子をかぶろうとする 散歩の時靴を出す											着替えに参加する → 衣服を自分で着脱しようとする スナップをはずす 助けられてファスナーが上下できる										おとなに助けられながら自分で着脱する パンツズボンで自分で脱ぐ ボタンはずす・スナップをつける 助けられて靴をはく くつをだいたい自分ではく、脱ぐ 大人に手伝ってもらって衣類をたためる														
	清潔	身体の清潔を喜ぶ 汚れたら新しい衣服に着替えさせてもらう 身体の清潔に参加する 鼻汁を知らせて拭いてもらう時促されてかむ 大人に両手を持ってもらって手を洗う 大人を真似て手を洗う											服のひどい汚れをおしえる 大人の声かけてある程度手をあらう 服の袖を助けを借りて上げ、手を洗い袖をおろす																								
社会性	母・育児者との協調 一緒にする喜び 遊ばせ 遊び 生活技術の習慣 習慣の学習 禁止・ルールの受け入れ・おはなし											空間の共有(姿勢の模倣) 運動の模倣 道具の共有										イメージの共有(一緒に遊ぶ) 役割、上下関係 葛藤の解決(感情の学習)															
仲間関係	自分のベットで眠る 一人遊び											友だちに邪魔されず自分の好きな遊びで遊べる 自分の席がわかる 大人と一緒に使ったものを元の場所にもどす										友だちのマークがわかる 入床する頃静かにすることがわかり、また起きた子から静かなあそびをする 決まった席で食べる 自分のマークに愛着をもつ 使ったものを元の場所にもどす 平行遊び															
あそび	子どもの姿	あやしてもらって喜ぶ 主体的なあそびの芽生え 遊びが活発になる つまむ・たたく・ひっぱるなどの手や指を使ってあそぶ みたてる 指しゃぶり おもちゃを握る 握ったおもちゃをふりまわす 模倣しはじめる 大人のしぐさをまねて遊ぶ ラッパを吹く 音・光・動くものを見る 押しつぶす 持っている物を渡す しがさでやりとりをするあそび 押しで歩く 引き歩く 打ち合わせ ティッシュなどを引っ張り出す ポットン落とし 音のするものに興味をもつ 太鼓をたたく しゃがんで遊ぶ											模倣あそび 遅滞模倣(かなり後での模倣) 積み木を積む 簡単なひも通し 砂あそび、水あそび 友だちと一緒にぐるぐる走るなどテーマの共有化 積み木の積み直し、入れ替えをする										みたて、つもりあそび あそびの中で生活を再現する 積み木で作ったものをみたてる 手指操作あそびが豊かになる 粘土あそび 砂、水、どろんこあそび 簡単なルールのあるあそび 道具を媒介にお友だちとごっこあそびをする 粘土で球や細長い形がつくれる 積み木で積む・並べるを組み合わせてつくる														